

第7期計画の目標とする指標等に対して事前に提出された分科会委員からのご意見と市の考え方について

No.	項目	ご意見概要	市の考え方	反映状況
1	Ⅱ 分野別施策の展開 第1章 健康づくりと介護予防の強化 第2節 介護予防・重度化防止の推進 2 多様な介護予防の場の提供	◆目標とする指標（資料A） つどいの場を開催している地区社会福祉協議会数 「つどいの場を開催している社会福祉協議会数」では、参加状況が把握できない。参加者数や実施箇所数を測ることができる指標に見直すべきと考えるがどうか。	より多くの高齢者が介護予防に取り組めるよう、高齢者の身近な場所により多くのつどいの場が必要であると考えています。ご指摘のとおり、実施地区数では実際に活動が行われている拠点数を把握することができないことから、指標を変更し、「介護予防活動実施箇所数」としました。	【指標】 反映
2	Ⅱ 分野別施策の展開 第1章 健康づくりと介護予防の強化 第3節 自立した日常生活の支援 2 生きがいの充実	ボランティアポイント制度の仕組みを理解・把握できていない市民が多いと感じるので、周知を図り活用しやすい制度となるようにして欲しい。	平成29年10月から開始したボランティアポイント制度については、制度開始にあたり広報あおもりへ特集記事を掲載したほか、市ホームページやチラシ配布によるPR、市内各地区での説明会の実施など周知に努めてまいりました。本制度を通じて、より多くの市民に地域の支え合い活動に参加していただけるよう、引き続き周知に努めてまいります。	【計画】 記述・整理済
3	Ⅱ 分野別施策の展開 第1章 健康づくりと介護予防の強化 第3節 自立した日常生活の支援 2 生きがいの充実	介護度の低い高齢者（要支援等）について、地域の中で自由に集い、生きがいを感じるような方策は考えられないものか。	地域のつどいの場については、第1章第2節第2項「多様な介護予防の場の提供」等で身近な場所で生きがいのづくりや介護予防に取り組めるように支援するとしていますが、地域の中で自由に集い、生きがいを感じられるようにするための方策については、関係団体などのご意見を伺いながら、事業の実施段階において検討してまいります。	【計画】 実施段階 検討

No.	項目	ご意見概要	市の考え方	反映状況
4	II 分野別施策の展開 第2章 保健・医療・福祉が一体となった地域包括ケアシステム構築の加速と地域福祉の推進 第1節 医療・介護連携の推進 2 医療・介護関係者の連携促進	◆目標とする指標（資料A） 多職種によるグループワーク等の開催回数 多職種によるグループワークは、連携促進や実践的な議論を行うための重要な取組である。経費をかけず工夫をして開催するなどし、回数（指標の目標回数）を増やす考えはないか。	多職種によるグループワークについては、外部講師を招いた比較的大規模の研修会を想定して実施回数に関する指標を設定しています。なお、医療・介護関係者の連携促進のためのグループワークについては、この外、様々な開催形態が考えられますことから、事業の実施段階において回数や内容を検討してまいります。	【計画】 実施段階 検討
5	II 分野別施策の展開 第2章 保健・医療・福祉が一体となった地域包括ケアシステム構築の加速と地域福祉の推進 第3節 地域包括支援センターの機能の充実 2 役割分担・連携強化	◆目標とする指標（資料A） 市と連携した地域ケア個別会議を開催する地域包括支援センター数 地域包括支援センターは、市が設置運営することになっており、青森市では、11法人が委託により運営をいただいている。 基幹型地域包括支援センターは、日常から各センターの運営に関わる必要があり、各センターの主催する地域ケア個別会議に出席することは義務であることから、この指標を設定することは不要である。	基幹型地域包括支援センターと委託型の地域包括支援センターの連携状況の指標としてお示したところですが、ご指摘のとおり、連携状況を測る指標として適切ではないと考えられることから、本指標を削除しました。	【指標】 反映

No.	項目	ご意見概要	市の考え方	反映状況
6	<p>II 分野別施策の展開 第2章 保健・医療・福祉が一体となった地域包括ケアシステム構築の加速と地域福祉の推進 第3節 地域包括支援センターの機能の充実 4 地域ケア会議の推進</p>	<p>◆目標とする指標（資料A） 地域ケア推進会議開催回数</p> <p>地域ケア個別会議と地域ケア推進会議の機能・役割・会議目的を整理してほしい。 また、日常生活圏域レベル・市全体レベルにおける地域ケア推進会議の考え方も整理してほしい。 その上で、地域ケア推進会議ごとの目標値を設定すべきである。</p>	<p>地域ケア会議については、各地域包括支援センターが開催する主に個別課題解決等の機能を持つ「地域ケア個別会議」、地域のネットワーク構築や課題解決の機能を持つ「日常生活圏域ケア会議」、また、基幹型地域包括支援センターが開催する市全体レベルで地域づくりや資源開発につながる意見を取りまとめる機能を持つ「地域ケア推進会議」に一体的に取り組むこととし、その実施を進めているところです。</p> <p>これらの会議の目標とする指標については、「地域ケア個別会議開催回数」と「地域ケア推進会議開催回数」に分けてお示ししていましたが、各地域包括支援センターが「地域ケア個別会議」と「日常生活圏域地域ケア会議」をあわせて年間12回以上開催することを目指しており、本計画案では「地域ケア会議」全体の指標を設定することとし、「地域ケア個別会議・推進会議開催回数」に統合したところです。</p> <p>各会議の開催回数については、各地域の「地域ケア個別会議」、「日常生活圏域地域ケア会議」の実施状況を踏まえながら、事業実施段階において検討してまいります。</p>	<p>【計画】 実施段階 検討</p>

No.	項目	ご意見概要	市の考え方	反映状況
7	<p>II 分野別施策の展開 第2章 保健・医療・福祉が一体となった地域包括ケアシステム構築の加速と地域福祉の推進 第3節 地域包括支援センターの機能の充実 4 地域ケア会議の推進</p>	<p>◆目標とする指標（資料A） 地域ケア個別会議開催回数 地域ケア推進会議開催回数 ケアプラン点検件数</p> <p>地域ケア個別会議は、地域包括ケアシステム構築のエンジンとなるものであり、財政的インセンティブに係る指標でもあるため、最低月1回以上の開催や開催事例検討数なども目標値として検討すべきである。</p> <p>また、国のケアプランの適正化に向けた対策の強化として、訪問回数の多い訪問介護対策が示され、訪問回数の多いケアプランを作成した場合には保険者に届出を行い、保険者は地域ケア会議またはケアプラン点検の場で検証を行うこととなっている。このことを踏まえ、地域ケア会議やケアプラン点検の目標値を増やすべきと考えるがどうか。</p>	<p>国の訪問回数の多い訪問介護対策への対応の中で、地域ケア会議の役割の増大が見込まれることから、各地域包括支援センターが少なくとも月1回地域ケア会議を開催するよう目標値を見直しました。</p> <p>なお、平成30年4月に国が定める予定としている訪問回数の多い訪問介護対策の基準を踏まえ、点検・検証を行う場（地域ケア会議やケアプラン点検の場）などを検討してまいります。</p>	<p>【指標】 反映</p> <p>【計画】 実施段階 検討</p>
8	<p>II 分野別施策の展開 第4章 安全・安心な暮らしの実現 第2節 住まいの充実 2 高齢者に適した住まいの確保</p>	<p>◆目標とする指標（資料A） 養護老人ホーム定員数 軽費老人ホーム定員数</p> <p>目標とする指標の「6期との比較」において、養護老人ホームの定員数は「見直し」、軽費老人ホームの定員数は「継続」としている理由と考え方を教えていただきたい。</p>	<p>事前照会で送付した資料の中の「6期との比較」については、第6期計画で掲げた指標と同じものは「継続」、何らかの変更を加えたものは「見直し」、新たに追加したものは「新規」と整理しています。</p> <p>養護老人ホームについて、第6期計画では「養護老人ホームの待機者数」「養護老人ホームの定員数」を指標としていましたが、待機者がいない現状から「養護老人ホームの待機者数」の指標を削除し、「養護老人ホームの定員数」のみとしたため「見直し」と整理したところです。</p> <p>なお、その後の検討において、施策の進捗度を図るための目標とする指標としては、定員数を維持する指標より、待機者を管理するための指標の方が施策の推進に当たって重要であることから、「養護老人ホームの定員数」及び「軽費老人ホームの定員数」の指標を削除し、「養護老人ホームの待機者数」を指標として整理したところです。</p>	<p>—</p>

No.	項目	ご意見概要	市の考え方	反映状況
9	II 分野別施策の展開 第4章 安全・安心な暮らしの実現 第2節 住まいの充実 2 高齢者に適した住まいの確保	◆目標とする指標（資料A） 養護老人ホーム定員数 軽費老人ホーム定員数 実際の住まいとしてのニーズ、養護老人ホームや軽費老人ホーム施設の老朽化やバリアフリー化への対応、ADL低下により退去する高齢者の現状等から、これらの施設は現状維持で良いのか。	定員数については、養護老人ホームは現状において待機者がいない状況であることや、軽費老人ホームは現状において施設に空きがある状況であることから第7期計画では現状維持することといたします。 なお、施設については、施設設置者が対象者の状況に応じた居住環境の提供に努めていただいているところであり、市では引き続き高齢者に適した住まいが確保されるよう状況を把握してまいります。	—

- ※ 「反映」・・・記述の追加等意見の全部又は一部を反映させるもの
 「記述・整理済」・・・計画に記述しているもの、市の考え方が整理されているもの
 「実施段階検討」・・・計画の実施段階で検討するもの